



# 一般廃棄物会計基準



---

～活用のポイント～

---

# 一般廃棄物会計基準とは

---

- **環境省**が平成19年6月に公表
- 「一般廃棄物会計基準」とは、一般廃棄物処理事業に係るコスト分析の**標準的手法**を示すもの
- 廃棄物会計基準に基づいて原価等を算出するための**支援ツール**を**環境省ホームページ**よりダウンロードできる

# 一般廃棄物会計の目的

■ 廃棄物会計基準の目的には、以下の二つがあります。

## ①外部公表目的

- 一般廃棄物会計基準に従って作成した一般廃棄物処理事業の財務諸表を公表することで社会に対する**説明責任**を果たす。

## ②内部管理目的

- 一般廃棄物会計を一般廃棄物処理事業の管理ツールとして利用することによって、**一般廃棄物処理事業の効率化**を図る。

外部公表と内部管理いずれにも活用することができます。  
外部公表と内部管理を行う必要があるということではありません。

# 一般廃棄物会計基準における財務書類の構成

一般廃棄物会計基準に係る財務書類は、以下に示す3つの財務書類から構成されています。

- ①原価計算書  
(一般廃棄物の処理に関する事業に係る原価計算書)
- ②行政コスト計算書  
(一般廃棄物の処理に関する事業に係る行政コスト計算書)
- ③資産・負債一覧  
(一般廃棄物の処理に関する事業に係る資産・負債一覧)

3つの財務書類をすべて作成しなくてはならないということではなく、作成主体が作成する財務書類を選択することができます。

例:原価計算書のみ作成 行政コスト計算書のみ作成

# 原価計算書の概要

- 対象期間(1年間)に、収集運搬した一般廃棄物・直接搬入された一般廃棄物の**収集運搬・中間処理・資源化・最終処分及びその管理**が対象。
- **一般廃棄物種類ごとに**、対象期間に要した**費用**・得られた**収益**・**原価**を整理。
- 原価は、部門(収集運搬・中間処理・資源化、最終処分)ごとに部門取扱量あたりの費用で表現。単位は、円/kg。

$$\text{燃やすごみの収集運搬部門原価} = \frac{\text{燃やすごみの収集運搬に要した費用}}{\text{燃やすごみの収集運搬量}}$$

$$\text{燃やすごみの総原価} = \frac{\text{燃やすごみの収集運搬～最終処分に要した費用}}{\text{燃やすごみの収集運搬量} + \text{燃やすごみ直接搬入量}}$$

廃棄物種類ごとの費用・原価を算出できる点が特徴です。

# 行政コスト計算書の概要

- 市町村が行う「一般廃棄物処理(原価計算書の対象)」を含む、一般廃棄物の処理に関する事業について、対象期間に要した費用及び得られた収益を表したもの。

→ 廃棄物種類ごとではなく、廃棄物種類全体にかかるもの

- 「原価計算書」では、計画策定、広報・普及啓発に係る費用、特別な要因で一時的に発生する臨時的な損失などを算定対象としていないが、「行政コスト計算書」では対象。

原価計算書と行政コスト計算書では、対象とする費目が異なります。  
用途に応じて使い分けてください。

# 資産・負債一覧の概要

---

- 一般廃棄物処理事業に係る資産・負債の状況を整理して表したものの。
- 別紙1：事業用資産(施設・車両)の詳細内訳
- 別紙2：負債の詳細内訳

資産・負債を把握し管理することで、資産の有効活用のほか、資産の更新や修繕の計画的な実施などに役立てることができます。

# 財務書類の活用方法

- 一般廃棄物処理事業の効率性を検証
- 一般廃棄物処理事業の変更を検討する際の判断材料、議会・住民への説明材料
  - ・収集運搬体制の変更、有料化施策の導入
- 他の市町村との比較
  - ・人口規模や産業構造が類似している市町村との比較
  - ・一般廃棄物処理体制が類似している市町村との比較
- 資産の有効活用、資産更新や修繕の計画的な実施

様々な用途で活用可能です。用途に応じて活用する項目を検討ください。

例：有料化の検討に使用したいので、広報費用等を含まない原価を活用。

例：施設ごとの費用を比較したいので、施設別費用・原価を活用。

# 一般廃棄物会計基準活用時のポイント①

- 全国都市清掃会議による原価計算の手引きを元にした各自治体による原価・費用等の計算方法(以下、自治体独自方式)と大きく異なるものではありません。
- 廃棄物会計基準と自治体独自方式で、以下の点が異なっているという事例があります。
  - ・減価償却方法(期間・残存価値)
  - ・対象とする費目(普及啓発費用等)
  - ・収入控除の有無(資源売却収入)
  - ・退職給付引当金繰入額相当額算入の有無

## 一般廃棄物会計基準活用時のポイント②

- 前頁に示した廃棄物会計基準と自治体独自方式で異なっている点を整合させることで、両方方式による費用・原価を一致させることもできます。

**例：廃棄物会計基準では退職給付引当金繰入額相当額を参入しているが、自治体独自方式では、退職給付引当金繰入額相当額を参入していない。**

→**廃棄物会計基準に基づく財務書類作成において、退職給付引当金繰入額相当額を算入しない場合の試算を行い、自治体独自方式による結果と比較。**

# 一般廃棄物会計基準活用時の留意点①

■ 廃棄物会計基準では、部門を以下のとおり定義。

作業 部門	収集運搬 部門	回収拠点等から一般廃棄物を中間処理施設・資源化施設等まで収集し、運搬することを担う部門。管路収集運搬を含む。
	中間処理 部門	焼却(溶融・スラグ化を含む。発電・熱利用を含む。)、ごみ固形燃料化、資源化を目的としない埋立処分のための破碎、減容化等を担う部門。 中間処理業務に加え、中間処理後の一般廃棄物を最終処分場まで運搬する業務、及び中間処理後の資源物を資源回収業者に引き渡すまでの業務を担う部門。
	最終処分 部門	燃やさないごみ、焼却残さ、処理残さの埋立処分を担う部門。
	資源化 部門	廃棄物を再生利用するために必要な選別、圧縮及び梱包や堆肥化、飼料化等を指し、生ごみ等バイオマスのメタン化等を担う部門。 処理工程との一体性から焼却処理に伴う焼却残さのスラグ化等再生利用や、廃棄物発電は資源化部門ではなく中間処理部門。 資源化業務に加え、資源化後の一般廃棄物を最終処分場まで運搬する業務、及び資源化後の資源物を資源回収業者に引き渡すまでの業務を担う部門。
管理部門		作業部門の管理を行う部門。

中間処理部門と資源化部門の区分が、自治体独自方式と異なっている場合があります。

## 一般廃棄物会計基準活用時の留意点②

- 中間処理部門と資源化部門の区分が、自治体独自方式と異なっている場合もある。

例：自治体独自方式において、「収集・焼却・資源化・埋立」という区分で資源化の中に破砕が含まれている場合、廃棄物会計基準に基づく「資源化部門」の定義と異なる。

自治体独自方式	廃棄物会計基準
収集部門	収集運搬部門に該当
焼却部門	中間処理部門の焼却に該当
資源化部門（破砕）	中間処理部門の破砕に該当
資源化部門（選別）	資源化部門に該当
埋立部門	最終処分部門に該当

## 一般廃棄物会計基準活用時の留意点③

■ 複数部門に跨る施設がある場合は、**適切な配賦基準**で部門別に配賦。

例：中間処理と資源化を行っているリサイクルセンターがある。

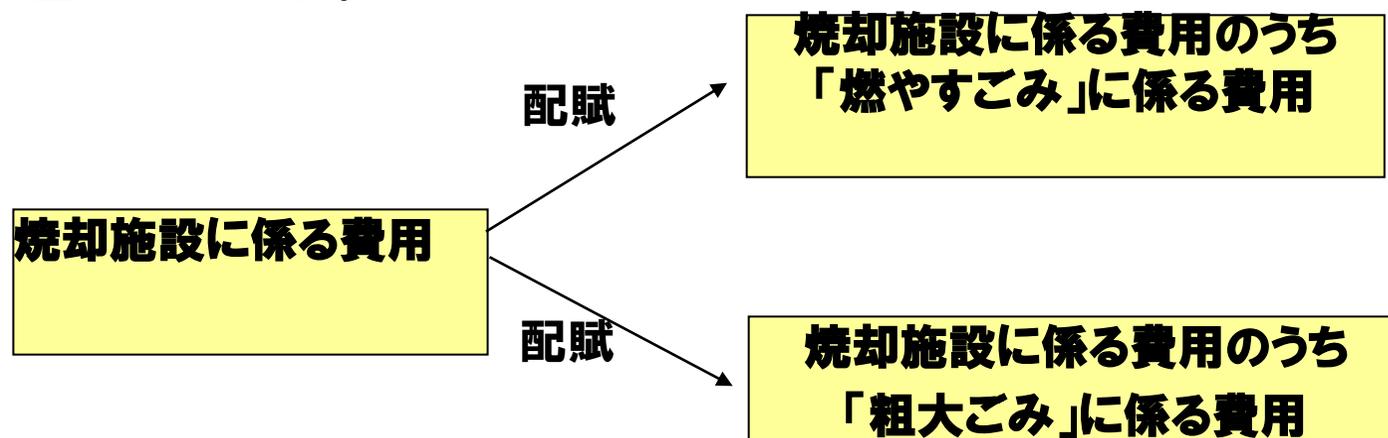
- ・同一の建屋を使用している場合は、**中間処理を行っている面積と資源化を行っている面積の比**で建屋の建設に費用を配賦する。
- ・装置・重機等は、使用している部門で区分する。

適切な配賦基準は、作成主体が決定するものです。廃棄物処理システムなどの実態を踏まえて設定してください。

# 費用の廃棄物種類への配賦方法

- 複数の廃棄物種類に係る費用は、廃棄物種類毎に配賦。

例：焼却施設において、「燃やすごみ」と「粗大ごみ」を処理している。

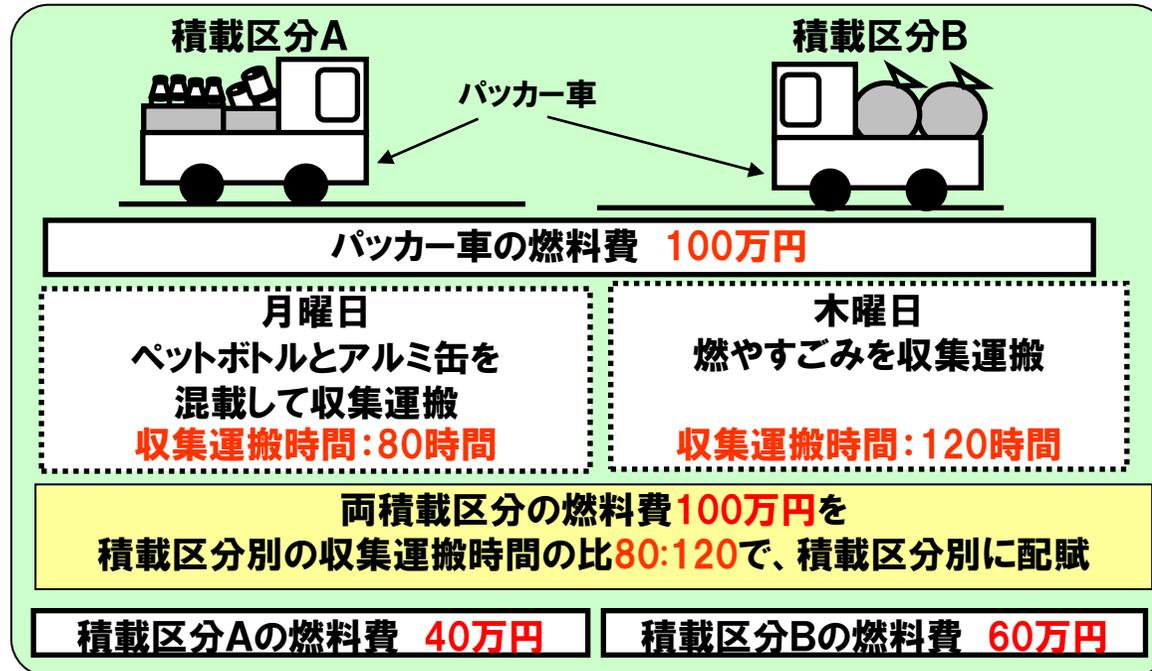


配賦する際の基準は、対象とする費用によって異なります。

例：中間処理部門の場合、中間処理部門投入量

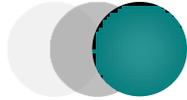
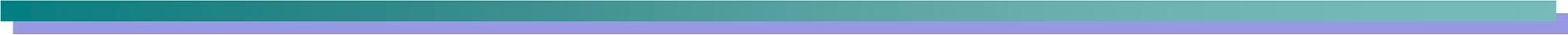
支援ツールを活用し、必要事項を入力すると、自動的に配賦されます。

# 収集運搬部門 車両に係る物件費の配賦方法



収集運搬部門における費用の配賦の際、すべてにおいて「容積比」を用いているわけではありません。

容積比を用いる場合であっても、実際に入力いただく項目は収集容積ではなく**収集重量**です。



# **一般廃棄物会計基準 財務書類作成支援ツール**



---

**～入力のポイント～**

---

# “新支援ツール”の特徴

---

## ①入力チェック機能追加

→不整合のある入力箇所が確認できます

## ②入力状況確認シートの追加

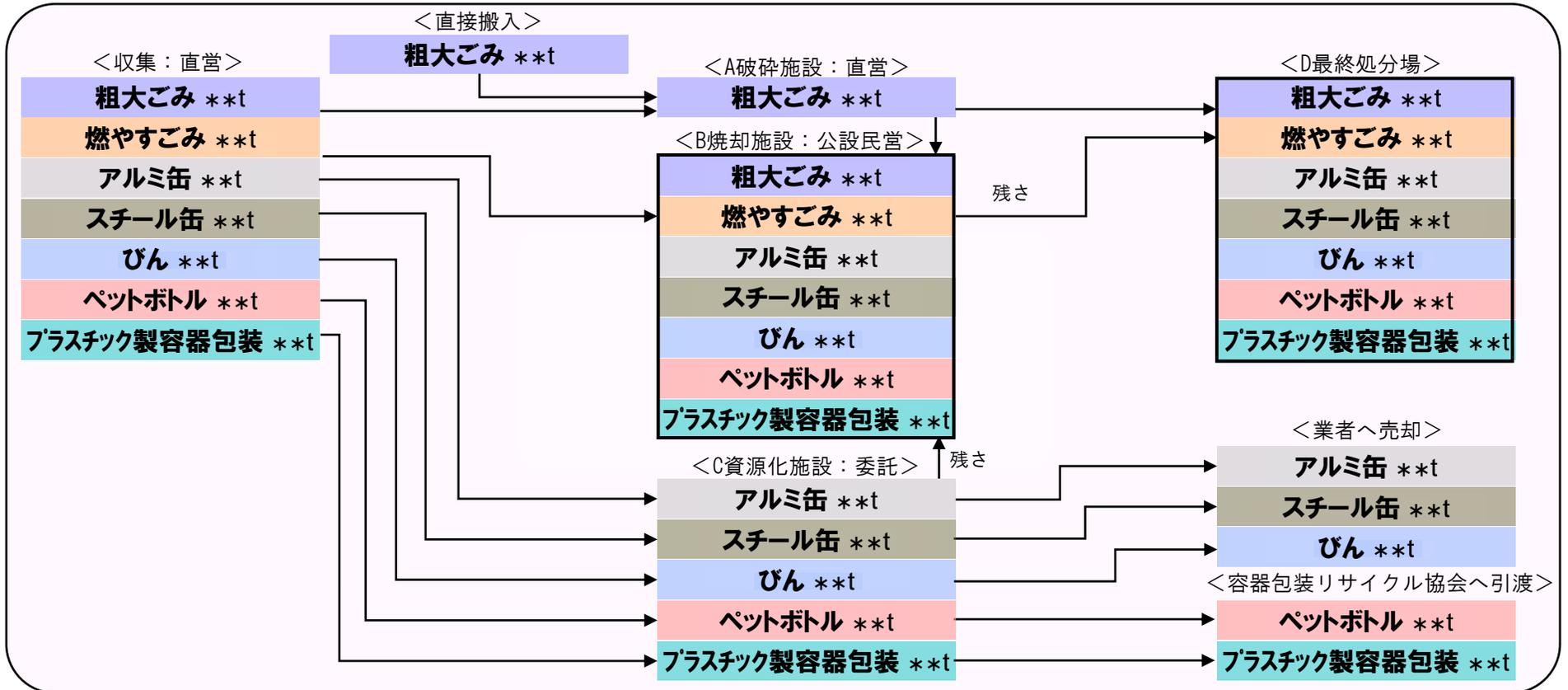
→作業状況（入力すべきシート）を  
一目で確認できます

## ③分析ファイルの追加

→出力ファイルの内容を自動でグラフ化

# ツールへのデータ入力前にすべきこと①

## ■ 一般廃棄物処理に係るフロー図を作成



● 廃棄物種類毎の廃棄物の流れ・量

を明確にしてください

● 廃棄物処理施設の部門(収集運搬・中間処理・最終処分・資源化)・運営主体(直営・公設民営・委託)

フロー図の作成は、非常に重要です。

正確なフロー図を作成することによって、支援ツールへの入力が容易になります。

# ツールへのデータ入力前にすべきこと②

## ■ 一般廃棄物処理に係るデータを整理

### ●施設について

取得年度、取得価額、想定耐用年数、施設に係る物件費、施設に係る経費

### ●車両について

取得年度、取得価額、想定耐用年数、車両に係る物件費

積載区分毎の取扱廃棄物種類・積載量・利用車種・車両出動回数・出動一回あたりの所要時間・乗車人数

※積載区分（積載区分とは、一般廃棄物を収集運搬する際に同じ車両に同時に積載されている一般廃棄物種類の組合せを指します。）

### ●人件費

### ●委託料、委託量

### ●収入

指定袋販売収入、資源物売却収入

### <原価の対象外>

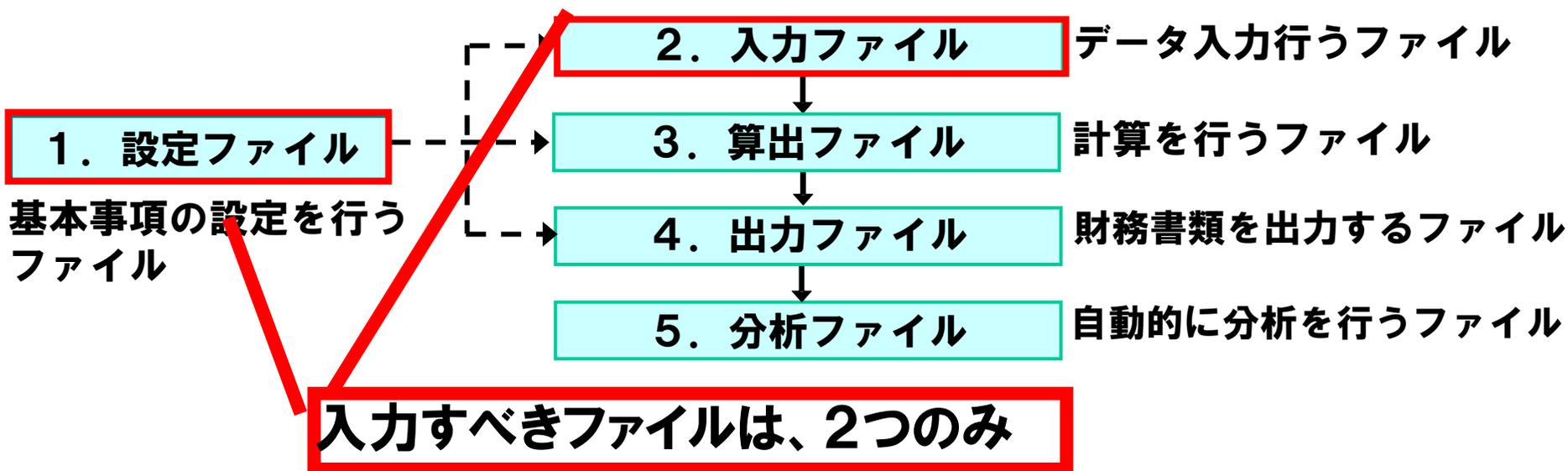
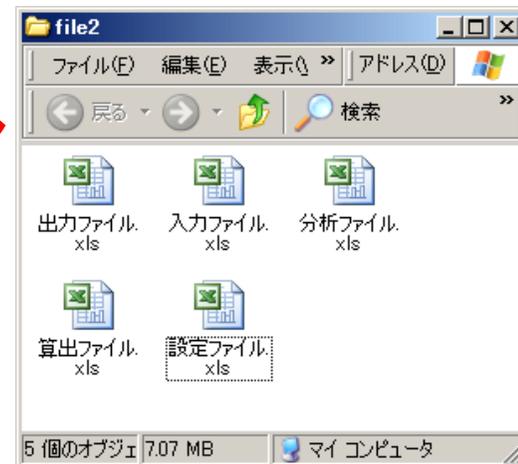
### ●一般廃棄物の処理を円滑に実施するための費用

広報・普及啓発、不法投棄対策等

# 財務書類作成支援ツールの概要

■ 一般廃棄物会計基準に基づく財務書類を作成するためのエクセルで作成された **5つの電子ファイル**のセット

■ 必要なデータを入力すると、財務書類を作成。



# 支援ツール使用時の諸注意

- 5つのファイルは、**同じフォルダ内に保存**してください。
- ファイルの名称は、**絶対に変更しない**てください。
- 関連するファイル間で参照のリンクが設定されているため、原則として、設定ファイル、入力ファイル、算出ファイル、出力ファイルの4つのファイルを開いた状態で入力を行ってください。ただし、設定ファイルの基本設定・入力チェックは、入力ファイルを閉じてから行ってください。
- 入力不可となっているセルがあります。このようなセルについては、シートの保護を解除するとセルへの入力が可能となりますが、入力チェック機能等においてエラーが発生することがありますので、セルへの入力を行わないでください。

# 設定ファイル 基本設定シート 入力方法

- 初めて入力する際は、**基本設定シート**のみに入力してください。
- 廃棄物種類毎の該当する作業主体(直営・委託・公設民営)に「1」を入力。
- 設定ボタンを押下。
- 設定内容に応じて、入力ファイルにおいて、**入力が必要なシートのみが表示**されます。

※その際、**入力ファイルは閉じてください。**

基本設定シートの入力は、非常に重要な箇所です。

次頁以降の例を参考にして、確実に入力してください。

入力ファイルへの入力を行ってから、設定内容を変更することも可能です。その場合は、基本設定シートへの入力を変更した後、再度「設定」ボタンを押下して下さい。

# 設定ファイル 基本設定シート 入力例1

<例>

燃やすごみを

A地域では「**直営**」にて**収集**

B地域では「**委託**」にて**収集**

		① 燃やすごみ
	直営	1
収集運搬部門	公設民営(収集運搬車両あるいは収集運搬施設を保有しているが、作業は委託)	1
	民間事業者または組合へ委託	1

# 設定ファイル 基本設定シート 入力例2

<例>

びんを色を区別せずに**直営**にて**収集**。

**びんを色毎**に選別しているため、色毎のびんの収集運搬量を把握している。

		① 燃やすごみ	② 燃やさないごみ	③ 粗大ごみ	④ アルミ缶	⑤ スチール缶	⑥ 無色のガラス製の容器	⑦ 茶色のガラス製の容器	⑧ その他のガラス製の容器
収集運搬部門	直営						1	1	1
	公設民営(収集運搬車両あるいは収集運搬施設を保有しているが、作業は委託)								
	民間事業者または組合へ委託								

# 設定ファイル 基本設定シート 入力例3

<例>

燃やさないごみの  
収集区分はない。

		① 燃やすごみ	② 燃やさないごみ
収集運搬部門	直営		
	公設民営(収集運搬車両あるいは収集運搬施設を保有しているが、作業は委託)		
	民間事業者または組合へ委託		
中間処理部門	直営		
	公設民営		
	民間事業者または組合へ委託		
最終処分部門	直営		
	公設民営		
	民間事業者または組合へ委託		
資源化部門	直営		
	公設民営		
	民間事業者または組合へ委託		

# 設定ファイル 基本設定シート 入力例4

<例>

アルミ缶とスチール缶を**直営**にて混合**収集**。  
**直営の資源化施設**にてアルミ缶とスチール缶に選別しているため、アルミ缶の収集運搬量とスチール缶の収集運搬量を把握している。

選別時の残さを組合の**最終処分場**にて埋め立てている。

		① 燃やすごみ	② 燃やさないごみ	③ 粗大ごみ	④ アルミ缶	⑤ スチール缶
収集運搬部門	直営				1	1
	公設民営(収集運搬車両あるいは収集運搬施設を保有しているが、作業は委託)					
	民間事業者または組合へ委託					
中間処理部門	直営					
	公設民営					
	民間事業者または組合へ委託					
最終処分部門	直営					
	公設民営					
	民間事業者または組合へ委託				1	1
資源化部門	直営				1	1
	公設民営					
	民間事業者または組合へ委託					

# 設定ファイル 基本設定シート 入力例5

<例>

ガラスびんを色を区別  
せずに直営にて収集。  
分別しないで売却して  
いる。

		① 燃やすごみ	② 燃やさないごみ	③ 粗大ごみ	④ アルミ缶	⑤ スチール缶	⑥ 無色のガラス製の容器	⑦ 茶色のガラス製の容器	⑧ その他のガラス製の容器
収集運搬部門	直営								1
	公設民営(収集運搬車両あるいは収集運搬施設を保有しているが、作業は委託)								
	民間事業者または組合へ委託								
中間処理部門	直営								
	公設民営								
	民間事業者または組合へ委託								
最終処分部門	直営								
	公設民営								
	民間事業者または組合へ委託								
資源化部門	直営								
	公設民営								
	民間事業者または組合へ委託								

# 設定ファイル 基本設定シート 入力ファイルへの反映①

■ 基本設定シートの該当するセルに「1」を入力した後、設定ボタンを押下すると、その内容が入力ファイルに反映されます。

21 (3)各部門における作業の実施主体の設定  
22 各廃棄物種類・各部門について、対象となる実施主体に「1」を入力してください。

		① 燃やすごみ	② 燃やさないごみ	③ 粗大ごみ	④ アルミ缶	⑤ スチール缶	⑥ 無色のガラス製の容器	⑦ 茶色のガラス製の容器	⑧ その他のガラス製の容器	⑨ リターナブルびん	⑩ ペットボトル	⑪ 白色トレイ	⑫ プラスチック製容器包装	⑬ 紙製容器包装	⑭ 紙パック	⑮ 段ボール	⑯ 古紙	⑰ 古布	⑱ 生ごみ	⑲ その他資源	⑳ その他のごみ
24	直営	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
25	収集運搬部門	公設民営(収集運搬車両あるいは収集運搬施設を保有しているが、作業は委託)																			
26	民間事業者または組合へ委託	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
27	中間処理部門	直営																			
28	公設民営																				
29	民間事業者または組合へ委託	1																			
30	最終処分部門	直営																			
31	公設民営																				
32	民間事業者または組合へ委託	1																			
33	資源化部門	直営																			
34	公設民営																				
35	民間事業者または組合へ委託																				

**入力不要のシート  
「収集運搬部門～公設民営」は  
非表示に  
⇒次ページ参照**

**廃棄物種類の表示  
① 燃やすごみ  
③ 粗大ごみ  
⇒次ページ参照**

# 設定ファイル 基本設定シート 入力ファイルへの反映②

## 入力ファイルにおける反映状況

14. 中間処理部門～直営施設～

中間処理部門の直営施設についてご回答ください。  
施設の名称については、プルダウンから選択してください。プルダウンには「1. 施設」で中間処理部門、稼働中を選択した施設名  
同一施設で焼却、破碎の両方を行っている場合には二行に分けて入力し、それぞれ対象となる廃棄物種類  
処理方法で「焼却」を選択した場合は、当該施設の焼却残渣を投入する最終処分施設の作業主体を「官、公設民営、委託」の  
焼却残渣を投入している場合は、最も多くの残渣を投入している作業主体を選択してください。

追加行数  行追加

対象年度: 2008年度 (平成20年度)

施設区分	(1)	(2)				(3)
		処理方法				
施設の名称	焼却	破碎	燃やすごみ	粗大ごみ		
1	環境センター(焼却施設)	1				
2	環境センター(破碎施設)		1			
3	環境センター	1		1		
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
25						
26						
27						
28						
29						

確定  
入力設定解除

入力方法 / 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 7 / 12 / 14 / 16 / 17 / 20 / 21 / 22 / 25 / 26 / 27 / 28 / 29 / 30 / 31 / 32 / 33 / 基礎情報 /

**「14. 中間処理部門～直営施設」シートでは、  
①燃やすごみ、③粗大ごみ  
のみ表示  
→入力すべき廃棄物種類が  
わかります**

**入力不要のシート10・11  
「収集運搬部門～公設民営～」  
は非表示に  
→入力すべきシートのみ表示**

# 入力ファイルの概要

- 費用・物量等のデータを入力するファイル
- 廃棄物処理システムによって入力すべきシートが異なります

部門	シートNo.・内容	
	入力方法	
	1	施設
	2	所有施設に係る事業費等
	3	車両
収集運搬部門	4	収集運搬量
	5	直接搬入量
	6	直営施設
	7	直営車両の積載量等
	8	コンテナ等の物件費
	9	コンテナ等の配布状況
	10	公設民営(所有施設)
	11	公設民営(所有車両)
	12	委託
	中間処理部門	13
14		直営施設
15		公設民営
16		委託

部門	シートNo.・内容	
最終処分部門	17	最終処分投入量
	18	直営施設
	19	公設民営
	20	委託
資源化部門	21	資源化投入量
	22	直営施設
	23	公設民営
	24	委託
	25	引渡量
	26	人件費
	27	施設に係る物件費
	28	車両に係る物件費
	29	共通的物件費、経費、管理部門に係る費用等
	30	一般廃棄物の処理に関する事業に係る資産・負債
	31	有料化の実施状況
	32	直接搬入ごみの手数料収入
	33	近隣市町村からの受託収入
	基礎情報	

# 入力ファイル シートの機能の説明

追加行数

**データクリア**  
 シート内のデータを一括して  
 クリアできます

対象年度:  /  /

施設No.	(1)	(2)	(3)	(4)		(5)	
	施設名称	部門	稼働状況	施設所有状況			該当部門使用率 (%)
				所有	賃貸		
	収集運搬施設1	収集運搬	稼働中	1			
	環境センター(焼却施設)	中間処理	稼働中	1			
	環境センター(破碎施設)	中間処理	稼働中	1			

**行追加**

- 入力欄が足りない場合に  
行を追加できます。
- 施設や車両数の多い場合  
にも対応しています

**入力確定・解除**

入力を確定すると  
「入力状況表示シート」に  
反映されます

# 入力ファイルへの入力方法 1シート:施設

## 所有している施設について入力

すべての部門の施設を一括して入力

対象年度: 2008年度 (平成20年度)

施設No.	(1)	(2)	(3)	(4)		(5)
	施設名称	部門	稼働状況	施設所有状況	該当部門使用率 (%)	
				所有	賃貸	
1	収集運搬施設1	収集運搬	稼働中	1		
2	環境センター(焼却施設)	中間処理	稼働中	1		
3	環境センター(破碎施設)	中間処理	稼働中	1		
4	環境センター	中間処理	稼働中	1		
5	リサイクルプラザ1	資源化	稼働中	1		
6	リサイクルプラザ2	資源化	稼働中	1		
7	管理施設	管理	稼働中	1		
8						
9						
10						

管理部門の人員費を入力するために  
管理部門の施設名を入力してください

# 入力ファイルへの入力方法 2シート:所有施設に係る事業費等

## 1シートで入力した施設に関するデータを入力

No.	(1) 施設名称	(2) 種別	(3) 内容	(4) 取得年度 (西暦)	(5) 取得価額(円)	(6) 支出金(円)	(7) 支出金の 対象		(8) 想定耐用年 数(年)
							① 国庫	② 都道府県	
1	収集運搬施設1	施設		1968	17,600,000				38
2	収集運搬施設1	施設		1971	18,000,000				38
3	収集運搬施設1	施設		1992	24,000,000				38
4	収集運搬施設1	施設		1994	17,800,000				38
5	収集運搬施設1	施設		1975	46,000,000				38
6	環境センター(破碎施設)	施設		1975	200,000,000	23,000,000	1		38
7	環境センター(焼却施設)	施設		1975	200,000,000	23,000,000	1		38
8	環境センター	土地		2001	14,000,000,000				
9	環境センター	施設							
10	環境センター	垂機							
11	環境センター	施設							
12	環境センター	施設							
13	環境センター	施設							
14	環境センター	施設							
15	環境センター(焼却施設)	追加投資							

「1. 施設」で入力した施設名をプルダウンで表示

- すべての所有施設の事業費等を一括して入力
- 次年度以降も入力データを活用でき、入力にかかる時間を短縮することができます

# 入力ファイルへの入力方法 3シート:車両

## 所有している車両について入力

## すべての車両を一括して入力

No.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)		(9)
	部門	車種	車両の 最大積載量	仕様等	取得年度 (西暦)	取得価額 (円)	台数 (台)	耐用年数 (年)		
								想定 耐用年数	<参考> 大蔵省令	
1	収集運搬	パッカー車	2トンより大きい		2000	600,000,000	53	9	4	66,666,667
2	収集運搬	平ボディ	2トンより大きい		2000	4,500,000	2	8	4	562,500
3	収集運搬	その他の車両	2トン以下		2000	600,000	1	13		46,154
4										0
5										0
6										0
7										0

部門・車種・積載量を  
プルダウンで表示

# 入力ファイルへの入力方法 12シート:収集運搬部門 委託

対象年度: 2008年度 (平成20年度)

該当する廃棄物のみ表示

委託区分	(1) 廃棄物種類																			委託料総額 もしくは 組合負担金支 払額(円/年)	委託量もしくは 組合による 収集運搬量(t)	(3) 組合全体の場合	
	①燃やすごみ	③粗大ごみ	④アルミ缶	⑤スチール缶	⑥無色のガラス製の容器	⑦茶色のガラス製の容器	⑧その他のガラス製の容器	⑨リターナブルびん	⑩ペットボトル	⑫プラスチック製容器包装	⑬紙製容器包装	⑭紙バック	⑮段ボール	⑯古紙	⑰古布	⑱その他資源	該当する組合	組合構成市町村の合計人口(人)					
1	1																	800,000,000	60,000				
2		1																100,000,000	2,000				
3			1	1	1	1	1	1	1									200,000,000	5,000				
4										1								50,000,000	2,000				
5											1	1	1	1									

委託区分ごとに入力

紫色セルは該当箇所に「1」を入力。「1」以外は入力不可

未入力は、「設定ファイル」の入力チェックで「未入力エラー」と表示されます

# 入力ファイルへの入力方法 14シート:中間処理部門 直営施設

対象年度: 2008年度 (平成20年度)

施設区分	(1) 施設の名称	(2) 処理方法		(3) 廃棄物種類												(4) 当該施設への中間処理投入量(t/年)	(5) 焼却残渣を投入する最終処分施設の作業主体	(6) 焼却残渣の受入事業主体	
		① 焼却	② 破碎	① 燃やすごみ	② 粗大ごみ														
		該当する廃棄物のみ表示																	
	環境センター(焼却施設)	1															60,000	委託	
2	環境センター(破碎施設)		1		1												3,000		
3	環境センター	1		1													200,000	委託	

**施設ごとに入力**

**該当する廃棄物のみ表示**

**「1. 施設」で入力した施設名をプルダウンで表示**

**紫色セルは該当箇所に「1」を入力。「1」以外は入力不可**

# 入力ファイルへの入力方法 26シート:人件費

対象年度: 2008年度 (平成20年度)

すべての部門の人件費を一括入力

NO.	(1)	(2)	(3)		(4)		(5)	(6)	(7)
	部門	施設名称	人員数(人)		人件費総額(円/年)		一人当たりの 想定退職金支給額 (自治体正職員) (円/人)	想定勤続年数 (自治体正職員) (年)	退職給付引当金繰入額 (自治体正職員全員分) (円/年)
			①自治体正職員	②臨時職員等	①自治体正職員	②臨時職員等			
1	収集運搬	収集運搬施設1	126.0	6.0	1,090,000,000	900,000	25,000,000	35	90,000,000
2	中間処理	環境センター(焼却施設)	19.0	3.0	200,000,000	3,000,000	25,000,000	35	13,571,429
3	中間処理	環境センター(破砕施設)	7.0		60,000,000		25,000,000	35	5,000,000
4	中間処理	環境センター	6.0		50,000,000		25,000,000	35	4,285,714
5	資源化	リサイクルプラザ1	6.0		90,000,000		25,000,000	35	4,433,092
6	資源化	リサイクルプラザ2	4.0		50,000,000		25,000,000	35	2,955,394
7	管理	管理施設	31.0		200,000,000		25,000,000	35	22,904,307
8									

水色:自動表示

# 入力ファイルへの入力方法 27シート:施設に係る物件費

**水色:自動表示**

施設NO.	対象年度:		(平成20年度)	
	(1)	(2)	(3)	(4)
	部門	施設名称	施設に係る物件費 (維持補修費、業務委託料等)(円/年)	施設に係る経費 (公債利子等)(円/年)
1	収集運搬	収集運搬施設1	11,000,000	0
2	中間処理	環境センター(焼却施設)	700,000,000	0
3	中間処理	環境センター(破碎施設)	15,000,000	0
4	中間処理	環境センター	15,000,000	0
5	資源化	リサイクルプラザ1	900,000,000	1,000,000,000
6	資源化	リサイクルプラザ2	60,000,000	0
7	管理	管理施設	60,000,000	0
8				

**すべての施設の物件費・  
経費を一括入力**

# 設定ファイルの活用

---

- 入力ファイルへの入力が終了したら、入力ファイルを一旦閉じてください。
- 設定ファイル「入力状況表示シート」「入力チェックシート」を活用してください。

# 設定ファイル 入力状況表示シートの概要

## 入力状況表示

「入力状況表示」ボタンを押下すると現在の入力ファイルでの入力状況を表示します。

【凡例】○:入力済み △:入力中 ×:未入力 -:入力対象外

入力状況表示

対象シート	入力状況	対象出力シート
1. 施設	△	原価計算書、資産別紙1
2. 所有施設に係る事業費等	△	原価計算書、資産別紙1
3. 車両	△	原価計算書、資産別紙1
4. 収集運搬部門～収集運搬量～	△	原価計算書(収集運搬部門)
5. 収集運搬部門～直接搬入量～	△	原価計算書(収集運搬部門)
6. 収集運搬部門～直営施設～	△	原価計算書(収集運搬部門)
7. 収集運搬部門～直営車両の積載量等～	△	原価計算書(収集運搬部門)
8. 収集運搬部門～車両・施設以外に係る物件費のうち特定の廃棄物種類に係る物件費(コンテナ等)～	-	原価計算書(収集運搬部門)
9. 収集運搬部門～コンテナ等の配布状況～	-	原価計算書(収集運搬部門)
10. 収集運搬部門～公設民営(所有施設)～	-	原価計算書(収集運搬部門)
11. 収集運搬部門～公設民営(所有車両)～	-	原価計算書(収集運搬部門)
12. 収集運搬部門～委託～	△	原価計算書(収集運搬部門)
13. 中間処理部門～中間処理投入量～	△	原価計算書(中間処理部門)
14. 中間処理部門～直営施設～	△	原価計算書(中間処理部門)
15. 中間処理部門～公設民営～	-	原価計算書(中間処理部門)
16. 中間処理部門～委託～	△	原価計算書(中間処理部門)
17. 最終処分部門～最終処分投入量～	△	原価計算書(最終処分部門)
18. 最終処分部門～直営施設～	-	原価計算書(最終処分部門)
19. 最終処分部門～公設民営～	-	原価計算書(最終処分部門)
20. 最終処分部門～委託～	△	原価計算書(最終処分部門)
21. 資源化部門～資源化投入量～	△	原価計算書(資源化部門)
22. 資源化部門～直営施設～	△	原価計算書(資源化部門)
23. 資源化部門～公設民営～	-	原価計算書(資源化部門)
24. 資源化部門～委託～	-	原価計算書(資源化部門)
25. 引渡量	△	原価計算書(管理部門)
26. 人件費	△	原価計算書
27. 施設に係る物件費	△	原価計算書
28. 車両に係る物件費	△	原価計算書
29. 共通の物件費、経費、管理部門に係る費用等	△	原価計算書、行政コスト計算書
30. 一般廃棄物の処理に関する事業に係る資産・負債	△	資産・負債一覧
31. 有料化の実施状況	△	原価計算書(管理部門)
32. 直接搬入ごみの手数料収入	△	原価計算書(管理部門)
33. 近隣市町村からの受託収入	△	原価計算書(管理部門)

▶ ボタンを押すと、  
入力ファイルの  
入力状況を表示

▶ 入力の必要な  
シート(△・×のシ  
ート)を把握する  
ことができます

# 設定ファイル 入力チェックシートの概要

## 入力チェック機能を追加

## 論理チェック

「チェック」ボタンを押下すると、入力ファイルで入力されたデータについて入力チェックを行い、エラーデータをエラーデータ一覧に表示します。  
前回チェック時のエラーデータ一覧は「チェック」ボタン押下時に消去されます。  
前回チェック時のエラーデータ一覧を「エラーデータ一覧(前回)」シートに表示します  
前々回チェック時のエラーデータ一覧を「エラーデータ一覧(前々回)」シートに表示します。

チェック

エラーデータ一覧

対象シート	対象項目・セル	エラー内容	関連シート	関連セル
2. 所有施設に係る事業費等	T環境センター保留地	未入力エラー	1. 施設	C15
2. 所有施設に係る事業費等	管理施設	未入力エラー	1. 施設	C18
13. 中間処理部門～中間処理投入量～	L10	大小関係エラー	4. 収集運搬部門～収集量～;5. 収集運搬部門～直接搬入量～	F13,K13;C13,D13
13. 中間処理部門～中間処理投入量～	L12	大小関係エラー	4. 収集運搬部門～収集量～;5. 収集運搬部門～直接搬入量～	F15,K15;C15,D15
14. 中間処理部門～直営施設～	T環境センター保留地	施設未入力エラー	1. 施設	C15

ボタンを押すと、エラー箇所が表示されるので、該当箇所を修正が容易に

# 設定ファイル 入力チェックシートのエラー内容

## ■ エラー内容一覧

エラー種類	エラーの内容
未入力エラー	原価の算出を行う上で入力が必要だが、入力が無い場合に表示 例)「7. 収集運搬部門～直営車両の積載量等～」シートについて、廃棄物種類を入力した積載区分に対し、積載量や利用車種や出勤回数等の入力が無い場合
重複入力エラー	2つのセルのどちらか一方にのみ入力が必要だが、2つのセル両方に入力がある場合に表示 例)「14. 中間処理部門～直営施設～」について、処理方法で「焼却」と「破碎」両方に「1」が入力がある場合
入力エラー	入力がないはずだが、入力がある場合に表示 例)「22. 資源化部門～直営施設～」シートについて、個数換算が可能な④アルミ缶から⑩ペットボトルとそれ以外の廃棄物種類を同一区分に入力した場合
大小関係エラー	2つのセルに大小関係があり、大小関係が逆転していると考えられる場合に表示 例)①燃やすごみについて、「4. 収集運搬部門～収集運搬量～」シートと「5. 収集運搬部門～直接搬入量～」シートの処理量合計よりも「13. 中間処理部門～中間処理投入量～」の中間処理投入量合計が大きい場合
不整合エラー	設定ファイルの設定内容と入力ファイルの入力内容が一致していない場合に表示 例)設定ファイルの「(3)各部門における作業の実施主体の設定」で中間処理部門直営施設に「1」を入力しているが、「13. 中間処理部門～中間処理投入量～」シートの直営施設投入量に入力が無い場合

# 設定ファイル 入力チェックシートのエラー内容

## ■ エラー内容一覧

エラー種類	エラーの内容
合計値エラー	最終処分部門について、「17. 最終処分部門～最終処分投入量～」シートの主体毎の埋立処分量合計と各主体毎のシートの埋立処分量合計が一致しない場合に表示
該当部門重複エラー	同一の施設や車両について、該当する部門が重複して入力がある場合に表示
該当部門使用率合計値エラー	同一の施設を複数の部門で使用している場合に、該当部門の使用率の合計が100にならない場合に表示
該当部門使用率入力エラー	複数の部門にまたがって使用していない施設について、該当部門使用率に100以外の入力がある場合に表示
施設重複エラー	1つの施設に対し、直営施設と公設民営施設両方に入力がある場合に表示
施設未入力エラー	「1. 施設」シートに入力がある施設について、該当部門に対象施設に関する入力がない場合に表示
車種毎台数合計値エラー	収集運搬部門公設民営で使用している車両について、「3. 車両」シートと「11. 収集運搬部門～公設民営（所有車両）～」シートの車種毎の台数の合計値が一致しない場合に表示
該当部門使用率エラー	同一の車両を複数の部門で使用している場合に、該当部門の使用率の合計が100にならない場合に表示

# 算出ファイルの概要

■ 入力ファイルの情報をもとに、費用・原価の計算を行うファイル

■ 入力の必要はありません。

■ 入力ファイルへの入力後、算出ファイルを開き、その後出力ファイルを開くことによって、出力ファイルに、入力ファイルの情報がリンクされます。

■ 計算過程がすべて表示されています。

1)算出フロー  
当該シートで算出する値の算出方法をフロー形式で示します。  
<例>

(1)施設ごと・部門ごとの減価償却費を算出

(2)施設ごと・部門ごとの人件費を算出

2)①入力項目  
当該シートで使用する値を示します。  
・「本シートの計算に利用する入力項目」で、使用する値の対象ファイル及び対象シートを一覧で示します。  
・「参照した値一覧」では、使用する値を参照表示します。

<例>

本シートの計算に利用する入力項目

入力項目	対象ファイル	対象シート
自治体人口	設定ファイル	基礎設定
廃棄物種類ごとの委託業者もしくは組合による収集運搬量	入力ファイル	4. 収集運搬部門～収集運搬量～
委託区分ごとの対象廃棄物種類	入力ファイル	12. 収集運搬部門～委託～

3)②算出過程  
当該シートで算出する値の算出過程を示します。  
・1)算出フロー及び各表での算出内容、算出に使用している表を示します。  
<例>

(1)施設ごと・部門ごとの減価償却費を算出

■表：施設5

表：施設2の施設ごとに、施設：1の減価償却費を合計し、施設ごとの減価償却費を算出

【表：施設2、施設1より算出】

施設No.	施設名称	部門	減価償却費(円/年)	取得価額(円)
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

# 出力ファイルの概要

一般廃棄物の処理に関する事業に係る原価計算書(総括表)

■ 算出ファイルの情報をもとに、財務書類(原価計算書・行政コスト計算書・資産・負債一覧)を表示

■ 入力の必要はありません。

対象年度: 2008年度 (平成20年度)

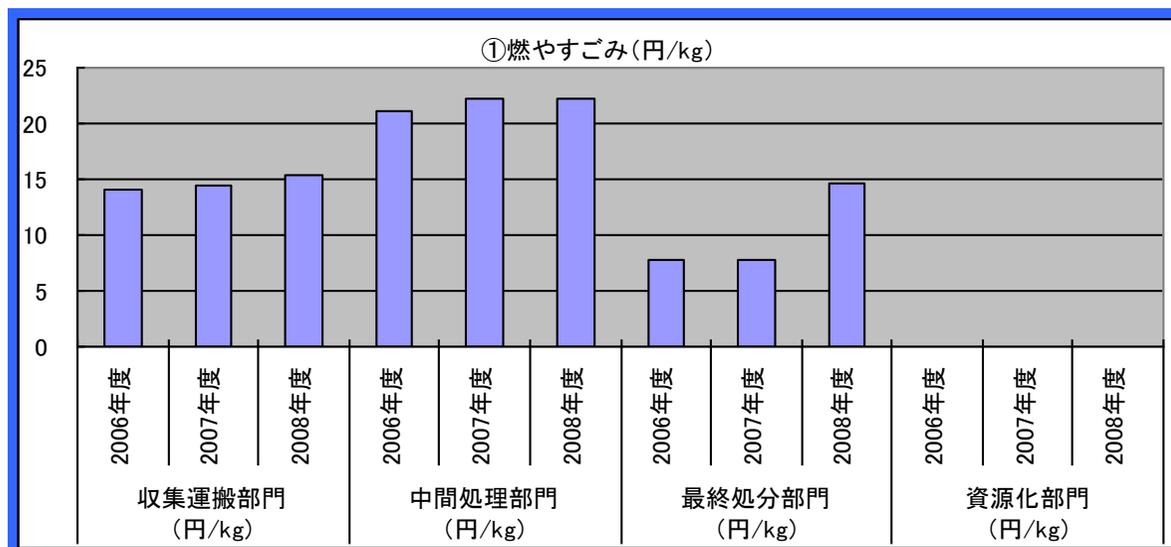
	① 燃やすごみ	② 燃やさないごみ	③ 粗大ごみ	合計
<原価> 収集運搬部門原価 (円/kg-収集運搬量)	15.45	-	56.08	22.10
中間処理部門原価 (円/kg-中間処理投入量)	22.19	-	26.01	22.31
最終処分部門原価 (円/kg-最終処分投入量)	14.70	-	-	14.70
資源化部門原価 (円/kg-資源化投入量)	-	-	-	28.21

[参考] <費用>	1,425,756,959	0	104,761,678	2,487,490,215
収集運搬部門費 (円/年)	1,425,756,959	0	104,761,678	2,487,490,215
中間処理部門費 (円/年)	3,882,089,896	0	151,371,621	4,033,461,517
最終処分部門費 (円/年)	60,490,500	0	0	60,490,500
資源化部門費 (円/年)	0	0	0	449,110,911
作業部門費合計 (円/年)	5,368,337,355	0	256,133,299	7,030,553,142
管理部門費 (円/年)	202,306,535	0	12,014,892	277,498,050
費用合計 (円/年)	5,570,643,890	0	268,148,190	7,308,051,193

# 分析ファイルの概要

- 出力ファイルの情報をもとに、自動的に表・グラフを作成
- 3種類の単年度分析と3種類の経年分析
- 簡単な設定のみ

## <分析例>



# 分析ファイルの使用方法

## 分析シート

1. (1)で、分析対象をチェックボックス形式で選択してください。
2. (2)1)で、「ファイル参照」ボタンを押下し、単年度分析を行う出力ファイルを選択してください。
3. (2)2)で、単年度分析②で対象とする部門を選択してください。
4. 経年変化分析を行うファイルを1つのフォルダに保存してください。経年変化を分析できるファイルは5ファイルまでです。
5. (3)1)で、「フォルダ参照」ボタンを押下し、4. で作成したフォルダを選択してください。
6. 「分析」ボタンを押下してください。

**ボタンを押すと、  
グラフを自動で表示**

分析

### (1) 分析対象設定

単年度分析     経年変化分析

### (2) 単年度分析設定

#### 1) 対象ファイルの設定

対象ファイル

ファイル参照

#### 2) 単年度分析詳細設定 対象部門費用分析時の部門設定

収集運搬部門     中間処理部門     最終処分部門     資源化部門

### (3) 経年変化分析設定

#### 1) 対象フォルダの設定

対象フォルダ

フォルダ参照

分析対象	シート名	分析内容	概要
単年度分析	単年度分析①	廃棄物種類ごとの作業部門の原価	廃棄物種類別に作業部門ごとの原価を表示します。作業部門ごとの原価の比較や作業部門の原価の廃棄物種類による違いを見ることができます。
	単年度分析②	廃棄物種類ごとの対象部門の費用及びその内訳	廃棄物種類別に設定した部門の費用及びその内訳を表示します。廃棄物種類ごとに設定した部門について、どこに費用がかかっているか見ることができます。

